

駒ヶ岳 TOPICS

金ケ崎町と北上市の境に位置し、胆沢平野から西に峰を重ねる焼石連峰、その北端に位置する駒ヶ岳は、昔から信仰の山として知られ、頂上には駒形神社奥宮がまつられています。

駒ヶ岳の名前の由来は？

春の残雪が馬の形に似ていることが由来ともいわれますが、坂上田村麻呂が愛馬を弔うため自分の兜に納めてあった仏像をまつたとも伝えられています。



馬形(雪どけ)

駒ヶ岳の登山シーズンは？

駒ヶ岳には特に山開きの行事はありませんが、雪の残る5月初旬から紅葉の11月初旬が一般的なシーズンです。

うがい清水

駒ヶ岳登山道の入口、赤鳥居の脇に位置するうがい清水。その名の示すとおり神の山への入口で、心身を清めたといわれています。



うがい清水



北上市・夏油温泉コース (登り約2時間30分)

夏油山荘のわきから散策路を兼ねた登山道に入り、30分程度先の分岐点から、駒形神社奥宮方面に向かって、なだらかな林間を登ります。やがて、少し下った先の小さな沢を渡った後、急な登りを進んで灌木地帯を抜けると頂上に到着します。雪解け時期は、難コースで一般的ではありません。

金ケ崎町コース (登り約1時間55分)

登山者名簿置場付近の登山道入口からブナ原生林を眺めながら広い道をゆるやかに登っていくと1時間程で下賽の河原に到着します。ここから、頂上を見ることができですが、また展望のきかない林の中に入り上賽の河原に到着します。ラスト30分は急な坂が続き、登り詰めたところで展望が開けます。

登山の心得

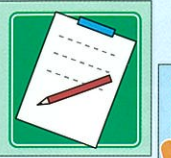
◎駒ヶ岳の自然を大切に

駒ヶ岳は、ブナ原生林をはじめとした自然の宝庫。この自然を大切に残すため、植物の持ちかえりやゴミ捨ては厳禁です。「とっていいのは写真です。残していいのは足跡です。」



◎防寒と計画は万全に

山の天気は急変するため、十分な装備と計画を行ってください。また、駒ヶ岳にはトイレは設置されておりません。出発前に済ませてから、入山しましょう。



登山アドバイス

年毎の積雪量にもよりますが、5月初旬には、標高800m付近からの残雪に出会います。ポイント毎に目印となるテープなどを付けて、登山道から外れないようにしましょう。駒ヶ岳周辺には熊が生息しています。1人の山歩きを避け、ラジオや鈴を携帯しましょう。



5月初旬の駒ヶ岳標高1,000m付近

駒ヶ岳の自然

駒ヶ岳には様々な植物が生息しています。みごとに新緑のブナ林、カラマツ植林地、タムシバ、ムラサキヤシオ、シラネアオイ、カタクリなどの高山植物が登山者を楽しませてくれます。

また、山頂の眺望はすばらしく、北には遠く岩手山や和賀地域の山々が見え、夏油高原スキー場、牛形山や経塚山などの焼石連峰、早池峰山まで360度のパノラマが広がります。



ムラサキヤシオ



カタクリ



シラネアオイ



タムシバ



ヤマザクラ



ギンリュウソウ

駒ヶ岳の山歩き



7 頂上 / 駒形神社奥宮



5 上賽の河原に到着。最後の急な登りに備えてひと休み



3 約1時間10分、下賽の河原でひと休み



1 入山名簿に記録



6 大きな岩の脇をとおり



4 下賽の河原を出発して、地藏菩薩でお参り。



2 森林浴を楽しみながら登る